

研修プログラム・研修施設申請書

(申請書類1-1)

プログラムの特徴

プログラムの名称	金井病院在宅研修プログラム	プログラム・コーディネーター*1	戸城 仁一
研修期間*2	1年	受け入れ人数*3	1名
代表施設名*4	名称	医療法人社団 淀さんせん会 金井病院	
	住所	(〒613-0911)京都市伏見区淀木津町612-12	
	電話番号	075-631-1215	問い合わせ先メール shokuinka@kanaihospital.jp
研修施設名2*5	(指導医)	研修施設名3	(指導医)
研修施設名4	(指導医)	研修施設名5	(指導医)
研修協力機関*6	①	②	③
研修協力医	①	②	③
研修プログラムの特徴(自由記載)	京都市内・淀城公園の近くにある金井病院(158床;2次救急告示病院)の「在宅ケアセンター」を中心とした研修プログラムです。総合内科・家庭医療学・プライマリケア領域で指導経験豊富な医師チームにより在宅医療を展開しています。当プログラムの最大の特徴は「地域の患者さんを慢性期から急性期まで、無理なく継続して診療していただける」点です。在宅患者が入院となった場合、急性期診療(救急対応から入院診療まで)を含め、主治医として診療していただくことも可能です。慢性内科疾患を持つ認知症や寝たきりの高齢者、悪性腫瘍終末期、神経筋疾患、施設利用者ケア等、多様な患者さんの訪問診療を行っています。		
ポートフォリオ領域(研修において特に力を入れている領域について)*7	<p>1老年医学 認知症、栄養障害、排泄、摂食嚥下障害、褥瘡に対する管理などを総合的に学びます。</p> <p>2緩和医療 がんによる苦痛はもちろんのこと非がん性疾患の症状緩和を積極的に考えます。看取りの経験を大切にします。</p> <p>3在宅医療の諸相 患者さんの容態に応じて急性期マネージメントも同時に学べます。退院後の在宅医療導入を学びます。</p> <p>4チーム医療 ケアマネージャー、訪問看護、リハビリ・介護スタッフとの円滑な連携によって医療の質を高めることを実践的に学びます。</p> <p>5質改善/地域作り 他の診療所との連携、介護施設との連携を行っています。地域住民への情報提供なども行います。</p>		
<p>*1 プログラム全体の責任者名を記載してください(プログラムコーディネーターは指導医に限ります)。 *2 研修期間は1年以上必要です。</p> <p>*3 受け入れ人数は指導医数の2倍を超えてはならない。 *4 プログラムコーディネーターの所属する研修機関名を記載して下さい。</p> <p>*5 代表施設名以外の研修機関の名称を、指導医のいる研修施設は指導医名をお書き下さい。プログラムに所属する研修施設の半数以上に指導医が必要です。</p> <p>*6 プログラムで何らかの協力体制にある研修機関名と協力医名を記載して下さい。</p> <p>*7 ポートフォリオ領域を参照に、プログラムで特に学べる点についてお書き下さい。</p>			

研修施設概要

研修施設名	医療法人社団 淀さんせん会 金井病院	研修受入人数*1	1人
住所	(〒613-0911)京都市伏見区淀木津町612-12		
電話番号	075-631-1215	F A X	075-632-2658
メールアドレス	shokuinka@kanaihospital.jp	ホームページ	http://www.kanaihospital.jp
医師数(常勤/非常勤)	10人 / 49人	在宅患者総数(年間)*2	65
がん患者数(年間)*2	12	在宅看取り数(年間)*2	11
外来診療の有無	有	入院施設の有無	有
外来人数(一日平均)	258.9人	ベッド数	158床
研修資源*3 (関連施設・事業所)	淀さんせん会 金井病院、居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション「ひだまり」、金井病院訪問リハビリ・訪問栄養指導、デイサービスセンター「愛会」、リジョイス薬局淀店		
在宅で実施可能な手技	(自宅)		(外来)
	診断(検査)*4	検体検査(血液・尿・便等)、エコー、ポータブル心電計等	X線、透視、CT、MRI、心電図、エコー、呼吸機能、内視鏡、脳波、各種検体検査等
治療*5	持続皮下注、TPN、CVポート管理、PEG管理、文換、経鼻胃管管理、文換、気切管理、文換、FOI、大工肛門管理、回腸導管管理、膀胱留置カテーテル管理、胸腹水ドレナージ、腹腔リザーバー管理など		
指導医氏名	① 戸城 仁一 ② 金井 伸行 ③		
指導医略歴	①戸城仁一	1995年京都大学医学部卒、京大病院・日赤和歌山医療センターで研修の後、日赤和歌山医療センター集中治療部、洛和会音羽病院総合診療科副部長を経て現職。京大医学部臨床准教授。	
	②金井伸行	1999年京都大学医学部卒 飯塚病院研修の後、飯塚病院総合診療科、洛和会音羽病院総合診療科、洛和会音羽病院「京都ER」救急救命センターを経て現職 金井病院理事長/金井クリニック院長。京大医学部臨床准教授。	
	③		

*1 一つの研修施設の受け入れ人数は、指導医数の2倍を超えてはならない。指導医のいない研修施設の受け入れ人数は1名とすること。

*2 いずれも最近1年間の人数を記載して下さい(年間看取り数10名以上の施設では、緩和ケア研修は免除になります)。

*3 同一法人内あるいは関連施設内にある研修に関連する施設や機能(訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、訪問リハビリ、訪問栄養、訪問歯科、調剤薬局、グループホーム、老健、療養型病床、特養、有料老人ホーム、ケアハウスなど)についてお書き下さい。

*4 在宅研修施設において、診断のため実施可能な検査や使用可能な検査機器について、自宅と外来に分けてお書き下さい。

*5 自宅で実施可能な治療をお書き下さい。